

各位

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤 次郎

令和元年度日本語学校教育研究大会の開催について(ご案内)

当協会の事業運営につきましては、日頃多大の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、本大会を別紙1の実施要項により開催することといたしました。今回は、第1日目(8月3日)の午前に、日本語教育推進議員連盟 会長代行 元文部科学大臣 中川 正春 氏を講師に迎えて基調講演をしていただきます。
つきましては、ぜひ多数の方にご参加いただきたく以下の通りご案内いたします。
なお、プレセッション及びポストセッションの開催については、改めてご案内いたします。

記

1 参加申込みについて

当協会 web サイトの参加申込みフォーム<<https://forms.gle/Dt2vYEDbR6xrE6RD7>>からお申し込みください。

申込締切日 2019年7月19日(金)

- ・円滑な受付のため、web でのお申込みにご協力ください。Web でのお申込みが難しい場合は、EメールまたはFAX でのお申込みも受け付けます。
- ・1校から多数の教職員の参加が可能であり、両日又はいずれか1日のみの参加でも結構です。
- ・会場の定員を超える来場者があった場合は、入場を制限することがあります。

2 交流会について

本大会1日目の日程終了後、交流会を実施します。参加の有無を大会参加申込時にご記入ください。

3 昼食について

大会当日の昼食は用意しておりませんので、各自でお取りください。

(添付資料)

問合せ先

- 別紙1 大会実施要項
- 2 大会趣旨
- 3 大会日程
- 4 参加申込みについて
- 5 FAX・メール用参加申込書
- 6 会場案内図

事業部 (小野寺陽子・相原)
TEL 03-5304-7815
FAX 03-5304-7813
Eメール y-onodera@nisshinkyo.org
HP <http://www.nisshinkyo.org/>

●○●大会運営ボランティアスタッフ募集●○●

大会2日目に会場でお手伝いしていただけるボランティアスタッフを募集します。自由研究発表等の会場にて担当委員のサポートをしていただきます。時間は、8/4(日)14:00頃から2時間半程度の予定です。ボランティアスタッフは参加費が無料となります。詳しくは上記問合せ先(事業部)までお願いします

令和元年度日本語学校教育研究大会実施要項

1 趣 旨

一般財団法人日本語教育振興協会維持会員及び準会員機関に勤務する教職員等を対象として、日本語学校教育のより一層の充実並びに日本語教育機関としての社会的地位の確立を目指し、各機関で展開されている豊かな教育実践を機関を超えて共有することを通して教職員の資質の向上を図ります。

2 日程及び会場

8月2日（金）プレセッション

アクセス青山フォーラム（東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル西館 15 階）

12:30～16:30 日本語教師のための進学説明会

8月3日（土）本大会 1 日目

国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール

（東京都渋谷区代々木神園町 3-1）

9:10～ 受付
 10:00～10:45 開会挨拶・大会趣旨説明
 10:45～11:45 基調講演
 11:45～13:45 ポスター発表
 13:45～15:45 講演
 16:00～17:30 日本留学 AWARDS 授賞式
 17:45～ 交流会

8月4日（日）本大会 2 日目

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟

9:10～ 受付
 10:00～12:30 分科会
 14:00～16:15 自由研究発表等

8月5日（月）ポストセッション

国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室

10:00～16:30 ICTと日本語教育

※日程等は変更になる可能性があります。ご了承ください。

3 参加資格等

- (1) 一般財団法人日本語教育振興協会維持会員及び準会員機関に勤務する教職員、その他関心のある者としてします。
- (2) 1機関から多数の教職員が参加していただいて差し支えありません。ただし、定員を超える場合は、お断りする場合がありますのでお含みおきください。両日又はいずれか1日のみの参加でも結構です。

5 参加費（本大会 1 日目・2 日目及び交流会）

	本大会		交流会
	事前支払	当日支払	
維持会員及び準会員機関 （年会費納入校）	2, 500円 /1人当たり	3, 000円 /1人当たり	3, 000円 /1人当たり
賛助会員	3, 000円 /1人当たり	4, 000円 /1人当たり	
その他の教育機関、個人	5, 000円 /1人当たり	6, 000円 /1人当たり	

○プレセッション及びポストセッションは、参加費無料です。

＜令和元年度日本語学校教育研究大会趣旨＞
大会テーマ『令和時代の新たな日本語教育 I』

大会委員長 奥田純子（コミュニケーション学院）

令和の時代の幕開けは、日本語教育界にとっての歴史的転換点となりました。最も大きなことは、今国会において「日本語教育の推進に関する法律案」が可決成立したことです。国、地方自治体、事業主の責務が明文化され、国の責務として、日本語教育機関に関する制度の整備について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずることが明記されました。まさに令和元年は日本語教育機関にとっての新たなスタート、再始動元年とも言うべき年となったと言えるでしょう。また、一方で、平成30年12月8日には「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」（改正入管法）が成立し、「外国人受け入れ及び共生のための総合的対応策」が関係閣僚会議で決定されました。人手不足を背景とした外国人労働者の受入れ拡大、それに伴う在留資格「特定技能」の新設、そして、私たち日本語学校にとって非常に大きな影響がある日本語教育機関の告示基準の改正などが、政府主導のもとで進んでいます。このように令和元年が日本語学校教育にとって100年に一度とも言うべきマイルストーンであるという認識のもと、本大会を新たな日本語学校教育のスタートの大会と位置付け、次のようなプログラムを編むことといたしました。

大会第1日目には、日本語教育推進議員連盟 会長代行 中川 正春先生（元文部科学大臣）をお招きし、「日本語教育推進法と日本語教育機関の制度について」というテーマで、日本語教育推進基本法の制定により、今後の日本語教育機関に求められる役割、位置づけ、制度制定のために日本語学校がなすべきこと等について基調講演をしていただきます。

続いて、出入国在留管理庁より、告示基準改正を中心にお話しいただき、特定技能への接続についても進路指導の観点から触れていただきます。そして、文化庁より、今年度の重点課題となっている日本語教師の資格、日本語教育の標準、日本語教育人材の研修について進捗状況等をお話しいただき、経営層、教師、職員、それぞれが当事者として、優良な日本語教育を目指し、これからの日本語学校教育の在り方の検討、創造、実践への一歩としたいと思います。

また、教育実践の改善・向上・情報の共有化を目指し、日本語教育機関全体で行う教職員研修として5本のポスター発表、4本の口頭発表を予定しています。加えて今年度より新たな試みとして自由に参加者が日本語教育に係る話題を共有できる場、トーキングショップを実施します。さらに、第2日目には①日本語教育を学ぶ大学生・院生との意見交換、②実践共有を通じた学びあい・その方法、③CEFR、④発達障害、⑤特定技能⑥新しい教員研修の在り方、の6つをテーマに分科会を展開します。

なお、プレセッションとして、専門学校、大学、大学院の留学生受入れ担当と日本語教育機関教職員の連携強化を目的とした「日本語教師のための進学説明会」、そしてポストセッションとして「ICTと日本語教育」を開催します。教室活動でどのように「デジタル」を取り入れていくかをディベートや講演、実践的なデモンストレーションを通して考えていきます。

猛暑の中の4日間ですが、より熱く日本語教育を語り、共に考え、明日の日本語学校教育実践を生み出す場にしていきましょう。

令和元年度日本語学校教育研究大会日程

- プレセッション 2019年8月2日(金) 「日本語教師のための進学説明会」
会場: アクセス青山フォーラム
- 本大会 1日目 2019年8月3日(土) 基調講演・日本留学アワーズ授賞式等
会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール
- 本大会 2日目 2019年8月4日(日) 分科会・自由研究発表等
会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟
- ポストセッション 2019年8月5日(月) 「ICTと日本語教育」
会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際会議室

テーマ 令和時代の新たな日本語教育 I

プレセッション 8月2日(金)		アクセス青山フォーラム
12:30~16:30	日本留学 AWARDS 日本語教師のための進学説明会	

大会1日目 8月3日(土)		カルチャー棟 大ホール
10:00~10:45	開会挨拶 一般財団法人日本語教育振興協会理事長 佐藤 次郎 文部科学省 大会趣旨説明 大会委員長 奥田 純子(コミュニカ学院 学院長)	
10:45~11:45	基調講演「日本語教育推進法と日本語教育機関の制度について」 日本語教育推進議員連盟会長代行 元文部科学大臣 中川 正春先生	
11:45~13:45	昼休憩	

ポスター発表・デモンストレーション		カルチャー棟 大ホールホワイエ
11:45~13:45	品詞を色分けしたカードを使って行うゼロスタートの学習者を対象にした日本語授業の方法 江副 隆秀(新宿日本語学校)他3人	
	4技能習得「幻想」からの脱却で輝く学習者—教師はいつまで4技能に縛られるのか— 町田 早織(インターカルト日本語学校)他1人	
	LMS の利用が期末試験に与える影響 杉本 有規(A.C.C.国際交流学園)	
	初中級を対象としたキャリア教育教材 —自分の価値観に気づき社会性を獲得する 平岡 憲人(清風情報工科学院日本語科)他6人	

		カルチャー棟 大ホール
13:45~15:45	講演「告示基準改正と日本語学校教育(仮)」 出入国在留管理庁 担当官 講演「現場の日本語教師に知ってほしい！ ～文化庁の日本語教育施策と審議会の審議状況～」 増田 麻美子(文化庁国語課 日本語教育専門職)	
16:00~17:30	日本留学 AWARDS 授賞式	
17:45~	交流会	カルチャー棟 2F レストランとき

2日目のみ参加の方は、417 室前の受付(9:30～)にお越しください。
 1日目に受付がお済みの方は、直接各会場へお越しください。
 会場により収容定員が異なります。定員に達した場合、ご入場いただけないことが
 ありますのでご注意ください。

大会 2 日目 8 月 4 日(日)

センター棟

10:00～12:30	分科会Ⅰ 日本語教育を学ぶ大学生・大学院生と日本語学校教員の意見交換会 —留学生も！日本語教師も！日本語学校で研究テーマを探そう！— 佐藤正則(山野美容芸術短期大学)、惟任将彦(名古屋 YMCA 日本語学 院)、小井亜津子(拓殖大学、東京大学、青山学院大学)	304 室(定員 80 人)
	分科会Ⅱ 実践共有を通じた学び合い・その方法7—地域とのかかわり— ジェット日本語学校、国際ことば学院日本語学校	405 室(定員 80 人)
	分科会Ⅲ 今、話題の CEFR. A2 って何?(仮) 奥村 三菜子(鹿児島キャリアデザイン専門学校 非常勤講師、元・ボン 大学 専任講師)	417 室(定員 300 人)
	分科会Ⅳ みんなでつくる日本語教育における特別支援の明日Ⅱ —個別支援教室での取り組みから考える発達障害と学習障害— 丹野 節子(「きらっと」たんの個別支援教室 講師) 橋本 洋輔(国際教養大学 助教)	501 室(定員 200 人)
	分科会Ⅴ 「特定技能」が日本語学校進路指導に与える影響 —敵か？味方か？外食業技能測定試験対策講座を知る— 内田 優美(株和食人材プラットフォーム 教育部 プロジェクトリーダー)	513 室(定員 80 人)

昼休憩 12:30～14:00

14:00～16:15	分科会Ⅵ 新しい教師研修のあり方を考える3	501 室(定員 200 人)
-------------	--------------------------	-----------------

トーキングショップ

※時間内の入退場・テーマの移動は自由です。

513 室

14:00～15:00 又は 15:15～16:15	日本語学校の ICT 化「やってみた」の次は？ 倉本 文子(カイ日本語スクール)他 2 人
	ファシリテート、どうしてますか？ 小座間 亜依(ヒューマンアカデミー日本語学校 東京校)他 1 人
	日本語教員が「教える」以外に抱える仕事 —日本語教員の管理運営業 務— 浦 由実(アン・ランゲージ・スクール成増校)他 2 人
	日本語教育におけるファシリテーションを考える— 就職希望の学習者に 役立つ”ファシリテーション型”授業 平岡 佳梨加(ATOWA)他 1 人

自由研究発表

417 室(定員 300 人)/405 室(定員 80 人)

14:00～14:35 又は 14:50～15:25 又は 15:40～16:15	留学生のための就労準備プログラムのデザイン改善—ケース学習を取り 入れた授業実践の報告— 児崎 静佳(カイ日本語スクール)他 1 人
	“戦争をめぐる授業実践がもたらす充実 —避けられるテーマこそが導く成 果の一例—” 萩原 秀樹(インターカルト日本語学校)
	日本語教師中堅研修の開発実践 —日本語学校の現場から— 平岡 憲人(清風情報工科学院日本語科)、他 10 人
	メタ認知能力の向上と自立を目指した自律学習の試み —日本語学校に おける大学院志望学生のためのコース開発— 中村 妙子(早稲田 EDU 日本語学校)

16:15 終了

ポストセッション 8 月 5 日(月)

国際交流棟 国際会議室

10:00～16:30	ICT と日本語教育
-------------	------------

※なお、日程については当日一部変更になることがあります。ご了承ください。

令和元年度日本語学校教育研究大会 事務連絡

I 大会予稿集について

本大会より、予稿集は PDF ファイルをダウンロードしていただく方法に変更となりました。(冊子体での配布はありません。) なお、会場では、Wi-Fi 等のインターネットのサービスはありません。必要な場合は、事前にダウンロード及び印刷してご持参ください。

事前支払いの方

ご入金を確認後、順次メールでダウンロード用の URL をお知らせします(7月26日(金)以降送信開始予定)ので、必要な場合は、事前にダウンロード及び印刷をしてご持参ください。

当日支払の方

当日受付で参加費をお支払いいただいた際にダウンロード用の URL をお知らせしますので、各自ダウンロードしてください。

II 参加申込みについて

プレセッション(8月2日(金))に参加する方は、参加申込みは不要です。当日、直接会場へお越しください。

本大会(8月3日(土)、4日(日))への参加には申込みが必要です。下記要領に従い参加申し込みをお願いします。

ポストセッション(8月5日(月))に参加する方は、本大会の参加申込みとあわせてお申込みください。

1 参加申込み方法

当協会 web サイトの参加申込みフォーム<<https://forms.gle/Dt2vYEDbR6xrE6RD7>>からお申し込みください。(申込締切 2019年7月19日(金))

※円滑な受付のため、web でのお申し込みにご協力ください。Web でのお申し込みが難しい場合は、E メールまたは FAX でのお申し込みも受け付けます。

2 参加費のお支払いについて

参加申込書の支払方法欄にご希望の支払い方法をチェックしてください。事前支払または当日支払をお選びいただけますが、円滑な大会運営のためできるだけ事前支払いをお願いします。

参加費

	本大会		交流会
	事前支払	当日支払	
維持会員及び準会員機関 (年会費納入校)	2,500円 /1人当たり	3,000円 /1人当たり	3,000円 /1人当たり
賛助会員	3,000円 /1人当たり	4,000円 /1人当たり	
その他の教育機関、個人	5,000円 /1人当たり	6,000円 /1人当たり	

○プレセッション及びポストセッションは、参加費無料です。

事前支払の方

- 1) 参加申込み受付け後、3日以内（土日祝日除く）に、当協会から受付番号・参加費金額・振込先口座等が記載されたメールをお送りします。事前支払いをする方はメール受信後、参加費を7月24日（水）までに銀行振込にてお支払いください。
 - ・参加の有無に関わらず、参加費ご入金後の返金はできませんのでご注意ください。
 - ・振込手数料は参加者または各所属機関でご負担願います。
 - ・領収書は、銀行の発行する振込金受領書をもって代えさせていただきます。
 - ・7月24日（水）までにご入金いただけない場合は、当日支払いの取扱いとなります。
- 2) 大会参加当日は、会場に到着されましたら「事前支払」専用受付にお越しくください。

当日支払の方

- 1) 参加申込み受付け後、3日以内（土日祝日除く）に、当協会から受付番号・参加費金額が記載されたメールをお送りします。
- 2) 大会参加当日は、会場に到着されましたら「当日支払」専用受付にお越しくください。受付で参加費をお支払いいただき、領収書をお渡しします。
- 3) 交流会参加を取り消される場合は7月24日（水）までに事業部あて連絡してください。連絡のない欠席や7月25日以降取消の場合は、交流会費を徴収させていただきますので、あらかじめご承知おき願います。

令和元年度日本語学校教育研究大会《参加申込書》

一般財団法人日本語教育振興協会事業部行

当初認定番号 又は会員番号				※当協会認定機関及び会員校のみご記入ください。
所属 機関名				
TEL		FAX		
事務連絡 用Eメール				
申込担当者 氏名				

標記大会の参加を申し込みます。

(該当する□に☑してください。)

機関区分	<input type="checkbox"/> 維持会員	<input type="checkbox"/> 準会員	<input type="checkbox"/> 賛助会員	<input type="checkbox"/> その他
------	-------------------------------	------------------------------	-------------------------------	------------------------------

支払方法	<input type="checkbox"/> 事前支払	<input type="checkbox"/> 当日支払
------	-------------------------------	-------------------------------

	(ふりがな) 参加者氏名	職名	参加日	8/3交流会 (参加費3,000円)	予稿集送付先Eメール (事前支払の場合のみご記入 ください)
1	()		<input type="checkbox"/> 8/3 <input type="checkbox"/> 8/4 <input type="checkbox"/> 8/5	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	
2	()		<input type="checkbox"/> 8/3 <input type="checkbox"/> 8/4 <input type="checkbox"/> 8/5	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	
3	()		<input type="checkbox"/> 8/3 <input type="checkbox"/> 8/4 <input type="checkbox"/> 8/5	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	
4	()		<input type="checkbox"/> 8/3 <input type="checkbox"/> 8/4 <input type="checkbox"/> 8/5	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	
5	()		<input type="checkbox"/> 8/3 <input type="checkbox"/> 8/4 <input type="checkbox"/> 8/5	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	
6	()		<input type="checkbox"/> 8/3 <input type="checkbox"/> 8/4 <input type="checkbox"/> 8/5	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	
7	()		<input type="checkbox"/> 8/3 <input type="checkbox"/> 8/4 <input type="checkbox"/> 8/5	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	
8	()		<input type="checkbox"/> 8/3 <input type="checkbox"/> 8/4 <input type="checkbox"/> 8/5	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	

EメールまたはFAXで7月19日(金)までに、お申し込みください。受付後3日以内(土日祝日除く)にメールで受付番号等をお送りします。

Eメール y-onodera@nisshinkyō.org FAX 03-5304-7813